

「神戸西神中央地区」 都市構造再編集集中支援事業

神戸市建設事業外部評価委員会説明資料

担当：都市局内陸・臨海振興課

1. 神戸西神中央地区 計画の概要（1/2）

計画の名称

都市再生整備計画 神戸西神中央地区

計画の目標

大目標：神戸市営地下鉄西神・山手線西神中央駅を中心とした神戸西神中央地区において、新たな行政施設等の整備に合わせて、駅周辺一体のリノベーションを図り、まちの一層の魅力向上や活性化を目指す

目標1：アクセス機能の向上

目標2：まちの回遊性の向上

目標3：まちのにぎわいづくり

計画の期間

計画期間：2021（令和3）年度～2025（令和7年度（5年間）



1. 神戸西神中央地区 計画の概要 (2/2)

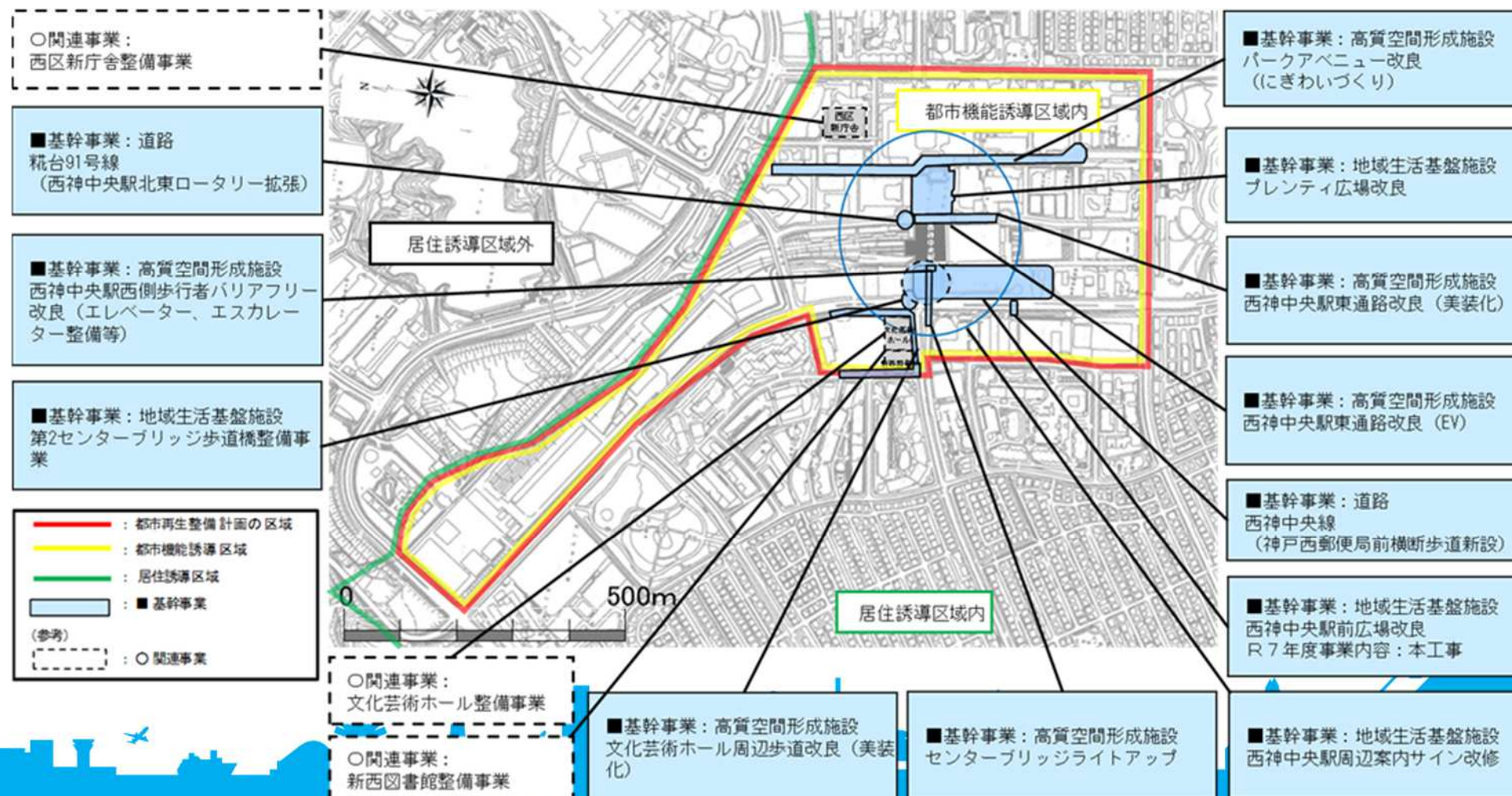
計画の成果目標 (定量化指標)

⇒人口減少等の社会情勢を背景に、通行数や乗降客数は維持することで相対的に向上の度合いを評価
関連事業（施設リニューアル）と連動する指標については従前値からの増加をにぎわいの向上として評価

	(従前値)	(目標値)
指標 1 : 駅周辺（東部）歩行者通行数【人/12h】 駅周辺の回遊性及びアクセス機能の向上、 にぎわいづくりの指標	2020(R2)年 : 17,000 → 2025年(R7) : 17,000	
指標 2 : 駅周辺（西部）歩行者通行数【人/12h】 駅周辺の回遊性及びアクセス機能の向上、 にぎわいづくりの指標	2020(R2)年 : 22,000 → 2025年(R7) : 22,000	
指標 3 : プレンティ広場利用申込日数【日/年】 駅周辺のにぎわい向上の指標	2019(R元)年 : 55 → 2025年(R7) : 70	
指標 4 : 図書館利用者数【万人/年】 駅周辺のにぎわい向上の指標	2019(R元)年 : 46.6 → 2025年(R7) : 90	
指標 5 : 西神中央駅乗降客数【人/日】 駅周辺のにぎわい向上の指標	2019年(R元) : 24,365 → 2025年(R7) : 24,500	

1. 神戸西神中央地区 計画の内容

計画区域・事業【交付対象事業費：3,632.3百万円】



1. 定量化指標の達成状況（指標1）

指標1：駅周辺（東部）の歩行者通行数【人/12h】

【達成状況】	（従前値）	（目標値）		（評価値）	（達成状況）
	17,000	17,000	→	19,100	○

【要因分析】

地区のアクセス性・回遊性の向上やプレンティ広場、区役所新庁舎の整備に合わせ、イベント実施や子育て施設の利用者など当地区への来訪者が増加し従前値よりも上回る結果となった。



1. 定量化指標の達成状況（指標2）

指標2：駅周辺（西部）の歩行者通行数【人/12h】

【達成状況】	（従前値）	（目標値）	（評価値）	（達成状況）
	22,000	22,000	→ 23,800	○

【要因分析】

地区のアクセス性・回遊性の向上や文化芸術ホール等の整備に合わせ、施設利用者など当地区への来訪者が増加し従前値よりも上回る結果となった。



1. 定量化指標の達成状況（指標 3）

指標 3：プレンティ広場利用申込日数【日/年】

【達成状況】	（従前値）	（目標値）		（評価値）	（達成状況）
	55	70	→	136	○

【要因分析】

整備に先立ち、地縁団体と広場の利活用に向けた協議を行い、計画段階から意見を収集したことや、広場整備後以降も利活用希望者発掘・支援や、広場の運用方法についてこうべ未来都市機構と調整を行うことで広場利用者の増加につながった。

西神中央駅東通路（美装化）



西神中央駅東通路（EV）



パークアベニュー



1. 定量化指標の達成状況（指標3）

利活用促進

【プレんティ広場リニューアル検討会】

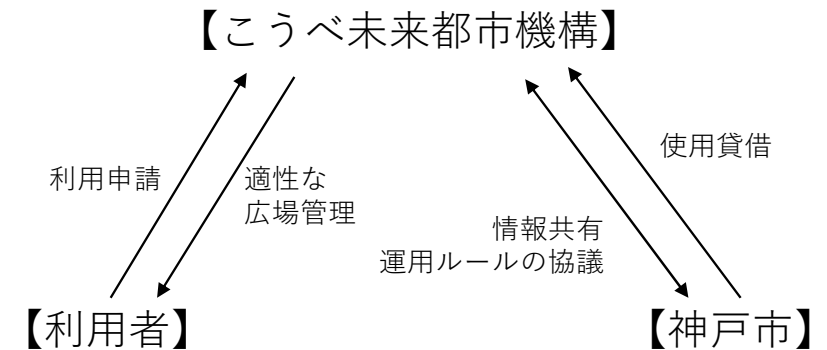
⇒地縁団体と広場の整備コンセプト、利活用について協議



【プレんティ広場等利活用支援業務】

⇒利活用希望者の発掘、支援、運営補助などを行い
利活用の定着につなげる

運営体制の構築



【まとめ】

広場の利活用促進と持続できる運営体制を構築することで、地元の祭りや周辺事業者のイベント（マルシェ）などで広場が継続的に利活用され**駅周辺のにぎわいが向上**

1. 定量化指標の達成状況（指標4）

指標4：図書館の利用者数【万人/年】

【達成状況】	（従前値）	（目標値）		（評価値）	（達成状況）
	46.6	90	→	54.1	△

【要因分析】

移転に伴い、施設のリニューアルを行ったところ、当初から駅近の利便性の高い立地だったため、想定よりも来館者数が増加せず目標値に達しなかったが、従前値より増加している。

文化・芸術ホール整備事業
新西図書館整備事業



第2センターブリッジ歩道橋



文化芸術ホール周辺歩道



1. 定量化指標の達成状況（指標 5）

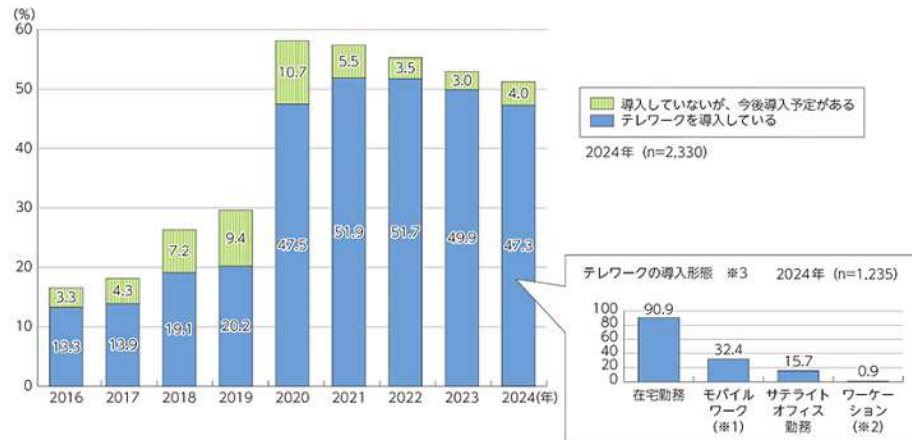
指標 5：西神中央駅乗降客数【人/日】

【達成状況】（従前値）（目標値）（評価値）（達成状況）
 24,365 24,500 → 21,716 △

【要因分析】

コロナ禍の影響を受け、大きく駅の乗車人員が減少したことに加え、テレワークの普及やネット通販など大きく就業環境や社会環境が変わり、事後評価時点では目標値には達しなかった。

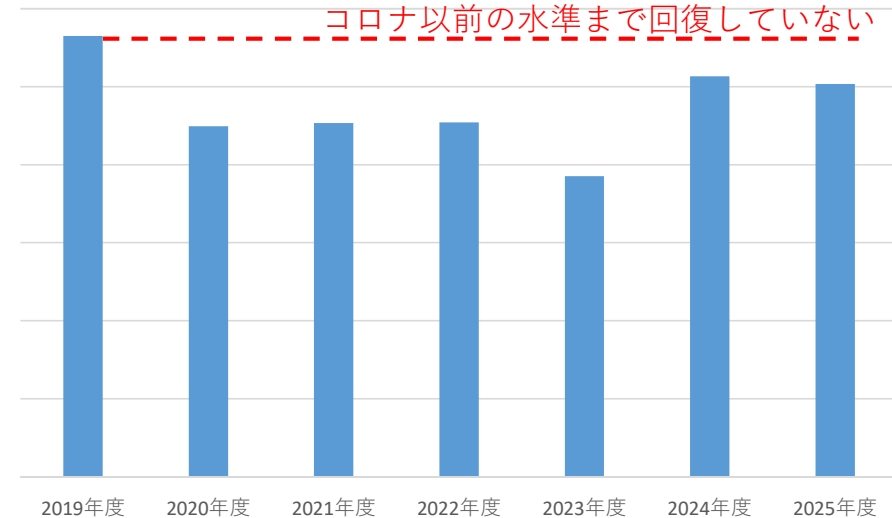
リモートワークの普及



※1 営業活動などで外出中に作業する場合。移動中の交通機関やカフェでメールや日報作成などの業務を行う形態も含む。
 ※2 テレワークなどを活用し、普段の職場や自宅とは異なる場所で仕事をしつつ、自分の時間も過ごすこと。
 ※3 導入形態は無回答を含む形で集計。

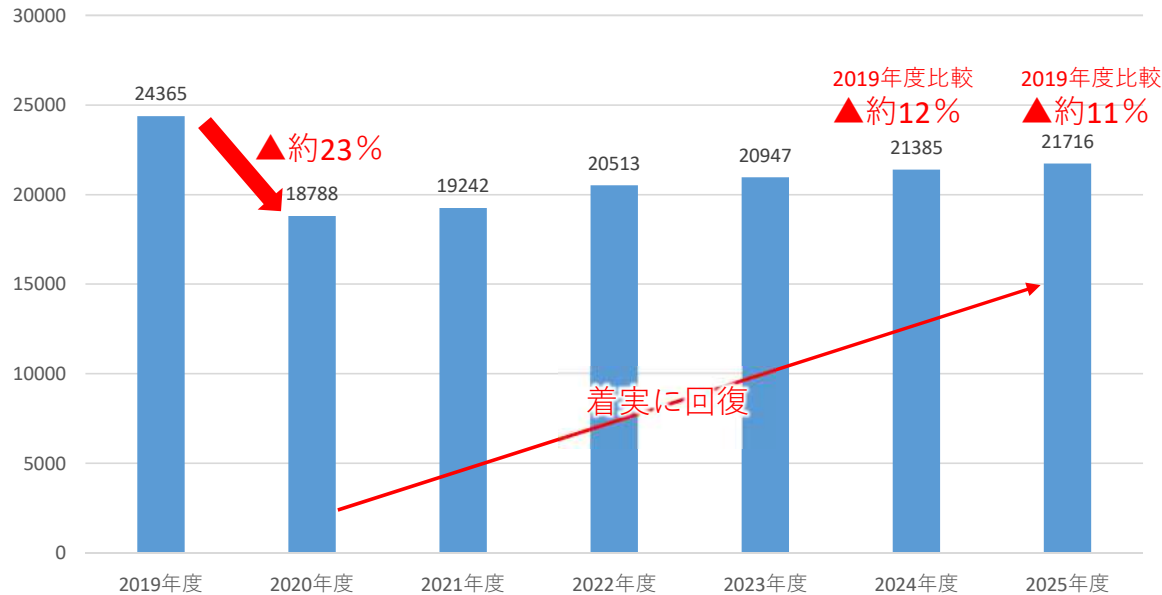
（出典）総務省「通信利用動向調査」

プレンティ年間来客数



1. 定量化指標の達成状況（指標 5）

西神中央駅 1 日平均乗車数



旅客数量の推移（全国）



（出典）「鉄道輸送統計調査」

【まとめ】

コロナ渦を契機に大きくテレワーク（特に在宅勤務）の形態が普及し、依然高い水準が維持されている。また、周辺商業施設もコロナ以前の客数まで回復していないことから、今後1年以内での目標値の達成は困難と考えられるが、**背景として就業環境や社会環境による要因が大きい**と考えられる。

本事業によるアクセス性や回遊性の向上、賑わいの向上も踏まえ、**着実に乗降客数が回復**していることから本事業の効果が発現していると考えられる。

1. その他の数値指標の効果発現状況

地区の社会動態（転出入数）

【達成状況】（従前値） → （評価値）
▲443 → 193

【要因分析】

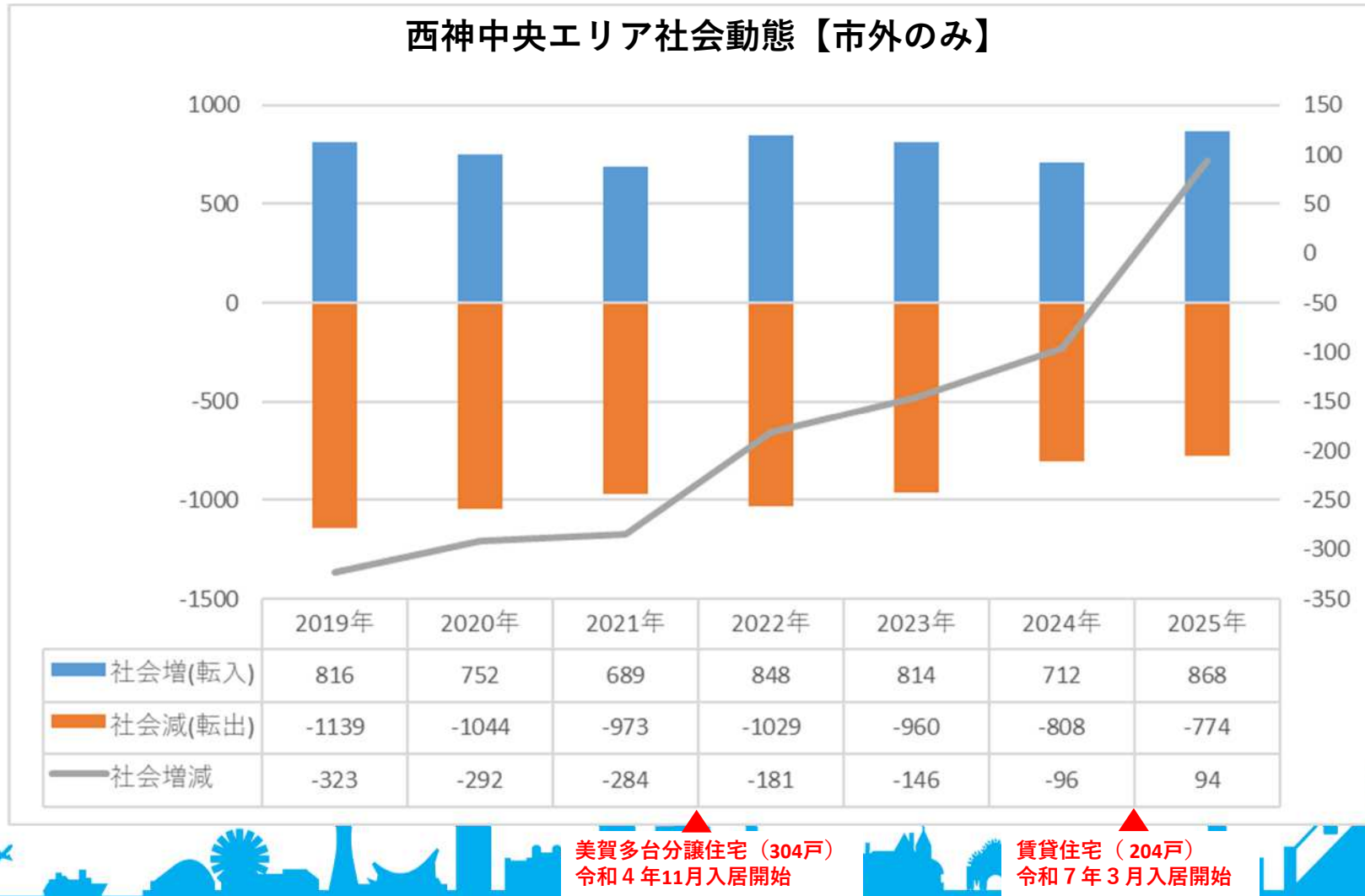
本事業全体を推進したことで、エリア価値の向上に加え、民間事業者の開発機運が高まり、住宅供給などの誘致につながった。

表一西神中央エリアの社会動態

西神中央	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
社会増（転入）	1656	1701	1559	1939	1745	1654	1854
社会減（転出）	-2098	-2039	-1888	-2055	-1818	-1666	-1657
その他の増減	-1	-2	-11	-4	-22	-7	-4
社会増減	-443	-340	-340	-120	-95	-19	193

※西神中央エリア：狩場台、糺台、竹の台、美賀多台、春日台、樫野台の6小学校区

1. その他の数値指標の効果発現状況



1. その他の数値指標の効果発現状況

表ー西神中央エリアの15歳～24歳人口

西神中央	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
15歳～19歳	2193	2207	2158	2098	2031	2015	1966
20歳～24歳	2108	2029	1932	1940	1944	1896	1939
合計	4301	4236	4090	4038	3975	3911	3905



【まとめ】

住宅供給のタイミングで大きく転入数が増加しており、**本事業に合わせて住宅供給**が行われたことで、**効果的に転入増**につながっている

また、転出数も減少傾向であることから、**本事業により転出を抑制**できていることも考えられる。一方で、高齢化が進んでいる背景から、大学入学や就職など転出の多い15歳～24歳の人口が減ってきていることも転出数が減少している要因として考えられる。

1. その他指標

定性的な効果発現状況

本事業に合わせて広場だけでなく、**周辺の公園や多目的スペース等での活動**への働きかけを行った結果、地元農家による地産地消の活動や子育て支援、にぎわいづくりなどの活動が、駅前広場だけでなく、**地区内の様々場所で展開され、地区全体のにぎわい、エリア価値向上につながっている。**

西神中央公園



西区役所多目的スペース



1. 今後のまちづくりについて

まちの課題の変化

本事業の実施により、目標に掲げたアクセス機能や回遊性が向上し、これらを契機に地域内で多様な団体による活動が展開され、まちのにぎわいにつながっていることが確認された。

今後は、エリアの魅力維持・向上に加え、西神中央地区全体の活性化につなげていくため、施設の適切な維持管理や、若年層に訴求できるような魅力づくりを行い、人口誘因や定住促進に取り組むことが必要。

今後のまちづくりの方策

広場等の運営主体と連携し、新たな活動の組成やイベント継続に向けた支援を行い、引き続きにぎわいづくり取り組むとともに、さらに地域に賑わいをもたらすような利便施設などのサービス機能等を併せもった複合型の集合住宅の誘致を検討し、地区全体の活性化に取り組む。

